

生徒会のみなさまへ

こんにちは。日本ユニセフ協会 学校事業部です。

ユニセフは、世界中のすべての子どもたちの命と権利を守るために活動している国連機関です。

昨年2月、ウクライナ危機が発生し、日本ユニセフ協会でもウクライナ緊急募金の呼びかけをはじめました。すると、日本各地の多くの学校で、生徒の皆さんから「私たちにも何かできないのか?」という声があがり、そこから学校で募金活動に取り組んでくださった、というお話が届くようになりました。生徒会の皆さんのリーダーシップが学校全体を動かただけでなく、地域も巻き



込んだ大きな活動になった、という事例も多く、中にはテレビや新聞で報道されるような活動もありました。



同じ地球で生きる仲間として、声をあげ、行動を起こしてくださったこと、それが学校だけでなく、地域にも影響をおよぼし、変化を起こしたようすを、私たちは本当に素晴らしいと思い、勇気をもらいました。ご協力くださった皆さんに心から御礼申し上げます。

活動したいと思っている生徒会の皆さんを応援したい!と考え、お申し込みいただいた学校宛てに、年に4回、広報誌「unicef news」をお送りすることにしました。



学びを深めたり、皆さんが活動したりする際の参考として活用してほしいと思っています。

たくさんのお申し込みをお待ちしています!

(公財)日本ユニセフ協会
学校事業部

生徒会へ年4回「unicef news」をお送りします!

日本ユニセフ協会の広報誌「unicef news」を、年4回、生徒会の皆さんにお送りします。

毎号、テーマに沿って世界の子どもたちが直面している課題を解説したり、世界の子どもたちの実際のストーリーを読んだりすることができます。

また、現地で働く日本人職員の仕事のようすを紹介した人気コーナーなどもあります。

このフォームをFAXまたはメールにてお送りください。



「unicef news」を申し込みます!

学 校 名			
送付時のお宛名	※特に記載のない場合は生徒会宛にお送りします。 ボランティア委員会等のお名前でも送付可能です。		
ご担当の先生	①		
送付先住所 (学校)	〒	都 道 府 県	
電 話 番 号			

送信先:(公財)日本ユニセフ協会 学校事業部

FAX 03-5789-2034 Eメール se-jcu@unicef.or.jp

お役立ちツール!

募金活動用のツールがまとまった「ユニセフ文化祭セット」

使いやすいポスターや募金箱をセットにして、無料（資料実費・送料ともに）でご提供いたします。



詳細は
こちらから▶

ユニセフ 文化祭セット

活動を終わってから

活動の報告やフィードバックに「We Support UNICEF賞」

ユニセフ学校募金活動を実施したうえでお申し込みをいただいた学校・園にWe Support UNICEF賞をお贈りしています。お申し込みいただくと、賞状と記念のステッカー、ホームページ用のWe Support UNICEFバナーをお贈りいたします。協力してくださった方々への報告にもお役立てください。



詳細は
こちらから▶

Weサポ ユニセフ

島根県立宍道高等学校からの活動報告

ユニセフの資料を読んでウクライナの状況を知り、子どもたちへの支援をしたい、と活動を企画しました。文化祭の催し物として、ほかの生徒たちにもウクライナの現状を知ってもらうために、調べたことをまとめ、展示を行いました。

また、「映えスポット」という名前でチェキを使って記念撮影ができるコーナーも作り、その記念撮影の代金をウクライナへの支援金とする募金活動も行いました。多くの生徒が記念撮影に訪れ、楽しく友達と記念撮影しつつ、募金をしてくれました。



©宍道高等学校

愛知県豊田市立石野中学校からの活動報告

2022年7月にロヒンギャ難民への募金活動を行いました。海外への支援について生活福祉委員会内で話し合い、「ウクライナの子どもたちへの募金を行いたい」という意見もありましたが、「ウクライナ以外でも、世界中で



©石野中学校

苦しい思いで過ごしている子どもたちがたくさんいるのではないか」という思いから、ミャンマーから逃れたロヒンギャ難民のことを調べ、募金協力を決めました。委員が事前に資料をつくり、生徒たちに説明して呼びかけました。先生も協力してくれて、たくさんの募金が集まりました。活動を通して、ロヒンギャ難民について、生徒・教職員・保護者に知ってもらうことができたと思っています。

皆さんの活動報告も、ぜひ送ってください！ ▶ 学校事業部 se-jcu@unicef.or.jp